

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	下部消化管内視鏡検査が炎症性腸疾患の治療予後に与える影響の検証		
1. 研究の目的と方法	本研究は、潰瘍性大腸炎およびクロール病の患者さんについて、治療を始める前に行われた内視鏡検査の有無と、その後の治療経過との関係を調べる研究です。 過去の診療記録を個人が識別できないように加工して利用する後ろ向き調査であり、新たな検査や治療は行いません。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2013年1月1日から2024年10月30日までの間に、東京慈恵会医科大学附属第三病院で潰瘍性大腸炎およびクロール病で治療薬（生物学的製剤、JAK阻害薬、ステロイド、または局所治療薬）を新たに始めるか、または治療内容を変更された方が対象となります。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1)試料の種類	試料は使用しません。	
	(2)試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3)情報の種類	本研究では、診療録や検査記録などに記載された以下の情報を利用します。 年齢、性別、診断名、病気の経過などの基本情報 症状の程度（スコアなど） 血液検査（CRP、アルブミン、ヘモグロビンなど）および便検査（カルプロテクチン） 内視鏡検査の実施日・所見・スコア 使用された薬剤の種類、開始日・変更日など治療内容 治療経過（治療の継続・変更・入院・手術などの経過） これらの情報はすべて、通常の診療で得られた既存の記録を個人を識別できないように加工して使用します。個人が特定される情報（氏名、生年月日、住所など）は利用しません。	
	(4)情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1)当施設の研究責任者または研究代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 内科学講座 消化器・肝臓内科
		氏名	濱谷尚希
	(2)当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	

	(3)当施設の 試料・情報の 管理責任者	(1)の研究責任者と同じ
	(4)共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。
6. 試料・情報を他 機関とやり取り することについ て	この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 情報の利用開始予定日：2025年12月頃～	
【問い合わせ先】	機関名：東京慈恵会医科大学附属第三病院 内科学講座 消化器・肝臓内科 研究責任者：助教 濵谷 尚希（しぶや なおき） 窓口担当者：助教 濵谷 尚希（しぶや なおき） 電話番号：03-3480-1151（内線 9556） 対応時間：平日 9:00～17:00	

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。

研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。